

ATWS2023北海道/日本

① 大会概要

【プレサミットアドベンチャー(PSA)】

日程:2021年9月4~10日

会場:全国22コース(うち道内15コース 釧路地域関連3コース)



【ATWS2023北海道】

日程:2023年9月11~14日

会場:札幌コンベンションセンター 他

内容:商談会をメインに、基調講演、分科会などを実施。他、ラウンジやPRブースなども設置。



② サミット当日の体制

【阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社】

当地域のAT窓口(ツアーオペレーター)を担うことなどを目的として、マーケットプレイスを中心に参加。

【釧路・阿寒DMOおよび釧路市】

水のカムイ観光圏域の魅力を発信し、ディスティネーションとしての認知度向上を図ることなどを目的として、北海道ラウンジを中心に参加。

【地域おこし協力隊】

地域におけるATの推進や、英語力等を活用して阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社や釧路・阿寒DMOなどをフォローアップ。



③ 実績(マーケットプレイス)

本大会前にマッチングした海外AT事業者7社に対し、12分間という限られた時間の中で、ひがし北海道のコンテンツやツアー事例の紹介などネットワーキング活動を実施。

【実績】

- ・事前マッチ件数:11社
- ・商談実施件数:7社

※2社事前キャンセル/2社No Show



【海外事業者の反応(ハイライト)】

- ・宿泊施設や飲食店等のローカル情報をもっと欲しいとリクエストされた。
- ・アイヌ文化について興味があり。まりも祭りなど地域の伝統行事についても関心が寄せられた。
- ・サイクリングツアーのデスティネーションとして検討中だが、ビーガン対応など食の部分に懸念が示された。
- ・ひがし北海道の野生生物観察(野鳥/海獣/ヒグマ等) に期待感が寄せられた。

③ 実績(メディアコネクト・北海道ラウンジ他)

地域のコンテンツ紹介や冬季FAMへの招請候補者選定をメインとして、当圏域に親和性の高そうな事業者を中心に、雑誌などのトラディショナルメディアにこだわらず、インフルエンサーやフリーランスライターにも積極的にプロモーション活動を実施。

【実績】

・ネットワーク実績:25社

※メディアコネクト外での接触も含む。



【海外事業者の反応(ハイライト)】

- ・初来日だが、実際に見られるものの多様性に可能性を見出している様子であった。
- ・アイヌ文化についても興味を示しており、アイヌ文化ガイドツアーに参加してみたいというメディアが多かった。
- ・ストーリー性を重視しているため、「何故あなたの地域を訪れるべきなのか」「そこにしかないストーリーは？」と問われる場面もあった。
- ・出回っていないストーリーやエリア等、よりローカルな文化体験について興味が高かった(アイヌ文化に限らず日本の文化全体)。

ポストサミットアドベンチャー

① 開催概要

日程:2023年9月15~18日

会場:釧路市、弟子屈町

ゲスト:カナダ2名、オーストラリア、アメリカ、フランス、イタリア、ドイツ、インド各1名、計8名 ※ 全員メディア関係者

【全体スケジュール】

日時		主な内容	会場
9月15日(金)	16時頃	阿寒湖温泉着 ブリーフィング	阿寒湖温泉
	18時頃	ウェルカムパーティー	
9月16日(土)	9時頃	雌阿寒岳トレッキング	阿寒湖温泉
	15時頃	アイヌ文化ガイドツアー(中止)	
	18時半頃	夕食	地元居酒屋
9月17日(日)	9時頃	アトサヌプリ(硫黄山)トレッキング	弟子屈
	13時頃	釧路川源流カヌー	
	16時頃	釧路湿原散策	釧路
	19時頃	フェアウェルパーティー	釧路市内
9月18日(月)	9時頃	猛禽類医学研究所視察	同左
	11時半頃	昼食	釧路市内
	15:20	釧路空港発	

② ポストSA推進体制

釧路地域AT推進会議メンバー構成

催行事業者
(JTB北海道事業部)

地域観光事業者

北海道観光
振興機構

各DMO
(釧路・阿寒・摩周湖)

釧路市・弟子屈町

地域おこし
協力隊
(釧路・阿寒)

DMC
阿寒アドベンチャー
ツーリズム株式会社



地域のAT関係者が連携することで受入体制を強化

③ ゲストの評価

【2日目:雌阿寒岳トレッキング】

【良い評価】

- ・ほぼ全員が、雌阿寒岳トレッキングを今回のツアーのハイライトと位置付けていた。
- ・森、湖、火山・・・歩く過程で景色の変化を楽しめる。頂上からの景色も素晴らしい。
- ・昼食の弁当を大絶賛「絶景を前にこんなに手の込んだランチが食べられるなんて」と喜んでいて。など

【今後のための評価】

- ・同じメディアでも、ペースに大きな差があり、各々で不満を漏らす場面があった。
- ・「ツアーのペースが速すぎて、ガイドさんに聞く/知る時間や写真や動画を撮影する時間が全くなかった」「ゲストのためにドローンの飛行許可を取っていなかったことに不親切さを感じたなどの意見が寄せられた。



③ ゲストの評価

【3日目: 釧路川源流カヌー】

【良い評価】

- ・こんなにもゆっくりとしたカヌー体験は初めてで、癒された。
- ・ガイドさんの腕が試される釧路川でのカヌー体験。
スリリングなコース取りや、足を水に浸けながら進む提案など、どれも喜んでいる様子が見られた。
- ・カヌーの上でのティータイムは全体的に喜んでおり、木のティーカップで提供されたお茶やコーヒー、ガイドさんの奥様手作りのお茶菓子も好評であった。
- ・「源流の水がすごく綺麗！強度が高なくて、連続の登山の後にはちょうどいい」

【今後のための評価】

- ・もっとハードなアクティビティを紹介することが多いので、アドベンチャー性については物足りない。
- ・カヌーというよりはクルージングに近いため、予想と違っていた。



ゲストの全体的な評価と課題

評価

- 通訳を介したガイドの説明にストレスを感じていた模様。
- メディアであることを意識し、より多くの取材を可能とするため、AT以外のFAMツアーと同様に行程時間を細かく設定したが、十分な取材時間を確保することができなかった。
- 事前の情報収集にあたって、英語によるキメ細やかな情報発信が少なかった。 など

課題

- コロナ禍に見舞われた期間、インバウンドが激減し、実践経験が不足したことによって受入体制が十分といえない
- 海外AT旅行者における当地域の認知度不足
- 海外AT旅行者に向けた英語での地域情報発信の不足 など



ゲストによるSNSでの情報発信の事例

ATWSはゴールではなく、スタート！

来冬、釧路市と弟子屈町の連携によるAT-FAMトリップを実施し、当地域の冬の魅力を発信。

これまでの蓄積に加えて、今回のATWS及びポストSAなどで得た知見を最大限活用することなどにより地域のAT受入体制を整備。

ATを根付かせ、地域の「稼ぐ力」を高める

ご清聴ありがとうございました

